

どきどき いっぱい

キンダーブック3 3月号

表紙の
絵から

今月は楽器の遊園地です。タンブリンを観覧車、鈴をゴーカートやピエロ、カスタネットを風船に見立てました。表紙を見た後は「つかったことのある楽器はある?」「ほかにはどんな物に見えそうかな?」などと問い合わせ、意見を引き出してみてください。



観察力を養い
探究心を育む

わくわく くさきぞめ

ねらい タンポポをつかった草木染めについて紹介し、おもしろさを伝えましょう。



タンポポをつかった草木染めの方法を説明します。誌面をつかって必要な道具や材料、お湯を扱う際の注意事項などを確認しましょう。ハンカチがどんな模様に染まるか絵を描いて予想したり、伝え合ったりしても楽しいですね。



輪ゴムの巻き方、つかう道具を変えると違う模様に染まることや、豆乳で絵を描いて染められることを伝えます。「自分だったらどんな模様に染めてみたい?」などと問い合わせ、草木染めへの関心を高められるとよいでしょう。



しこりよ
非認知能力を伸ばす

あそびを きめろ!

ねらい どうしたらみんなが納得して遊びを決められるか考えます。



つかいの方の
ヒント 「友だちと意見が違ったとき、みんなはどうする?」などと問い合わせ、意見を発表し合いましょう。みんなが納得できる解決策にはどんなものがあるか、お互いの話を聞き合い、いろいろな考えがあることを知れるとよいですね。



おはなし
感性を育て
読解力を育む

ポロンの あたらしい ふく

ねらい この1年の自分の成長について振り返りましょう。



ポロンの成長を描いたお話です。お話をとおして、身体的な成長だけではなく、内面の成長にも注目します。お話を読んだ後は「この1年で、できるようになったことはある?」などと問い合わせ、成長を実感する機会になるとよいでしょう。

「キンダーブック3」を

保育にご活用ください!

絵本をつかった指導計画の文例

コーナー



「わくわく
くさきぞめ」



「ポロンの
あたらしい ふく」

子どもが経験すること

- ・タンポポを集め、草木染めを行う。
- ・さまざまな道具をつかい、布に模様をつける。

- ・この1年、自分が成長したことを実感する。
- ・友だちの成長したところに気づく。

保育者の配慮

- ・子どもたちがタンポポを集められるように、散歩などの活動を計画する。
- ・誌面をつかってお湯や火をつかう際の注意事項を確認し、安全に行えるよう手順や環境に十分に配慮する。
- ・輪ゴム、割り箸、ビー玉など、さまざまな模様が作れるように道具を用意する。

- ・子どもたちが1年間の自分を振り返ることができるように、1年前はどんな姿だったのか対話を行う。
- ・友だちの成長した部分にも気づけるよう、お互いの成長した部分を伝え合う機会を設ける。



解説で
草木染めの
ポイントを
紹介しています!

5領域

- ・言葉による伝え合い
- ・自然との関わり・生命尊重
- ・表現

10の姿

- ・言葉による伝え合い
- ・人間関係
- ・社会生活との関わり